

# 伊豆の国市かわまちづくりの目標設定

～目指すべき未来の姿とそれを達成するための取組に向けて～

## ○伊豆の国市の強み(ポテンシャル)

- ・ 貴重な歴史文化資源や自然環境資源（ジオポイント）が存在する。
- ・ 伊豆半島サイクリングルートの半島縦断ルートと半島横断ルートの結節点である。
- ・ 隣接する伊豆市において東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技大会が開催される。
- ・ 2018（平成30）年11月にリニューアルした「道の駅伊豆のへそ」が、1月半で来客15万人を超える盛況を見せている。

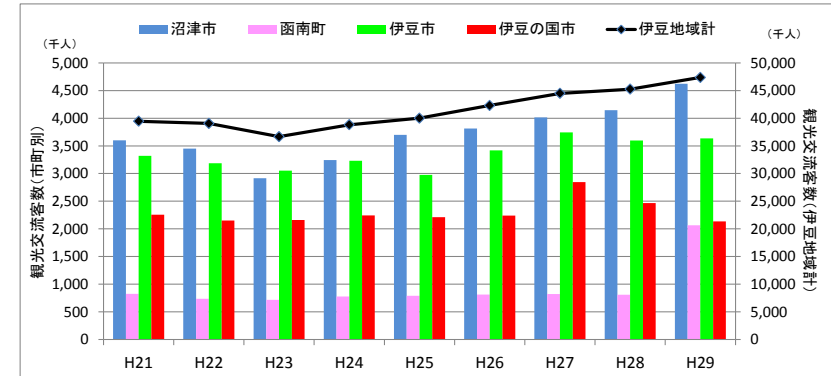


# 伊豆の国市かわまちづくりの目標設定

～目指すべき未来の姿とそれを達成するための取組に向けて～

## ○伊豆の国市において解決しなければならない課題

- ・ 貴重な歴史文化資源など観光に関するポテンシャルはあるが、伊豆地域の観光交流人口が増加傾向にある中、伊豆の国市は横ばいである。
- ・ 狩野川堤防等でのサイクリング利用者（通過）や「韮山反射炉」「道の駅伊豆のへそ」等の目玉施設への入り込みはあるが、市内に長く留まる滞在・周遊型観光へと波及していない。
- ・ 伊豆の国市では、滞在・周遊型観光のためのウォーキング・サイクリングコースの設定、「緑の回廊」整備、ジオポイントである「城山・葛城山周辺ハイキングコース」の整備などを計画しているが、市の単独事業のみでは計画の実現（ハード整備）が困難である。



伊豆地域の観光交流人口の推移

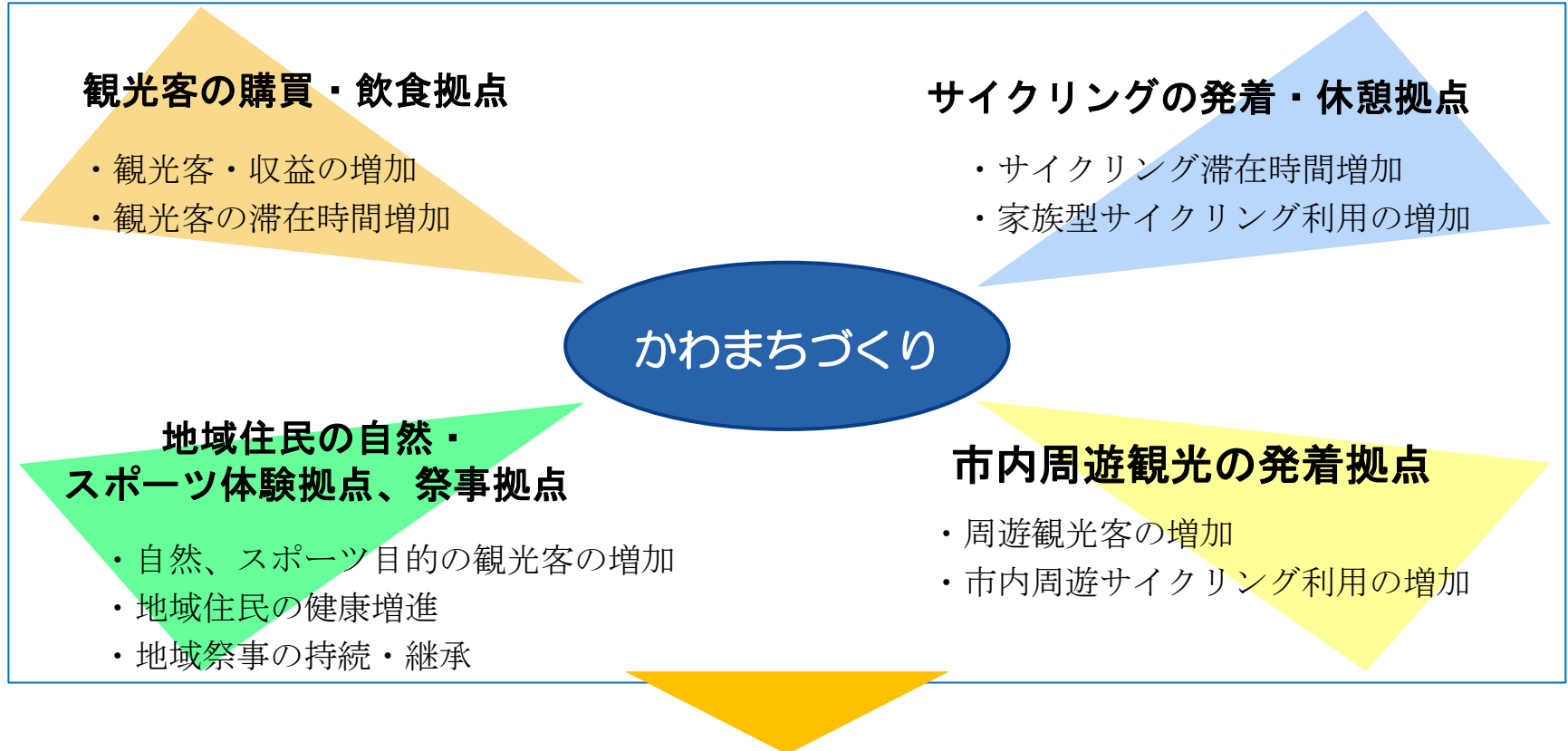


韮山反射炉

# 伊豆の国市かわまちづくりの目標設定

～目指すべき未来の姿とそれを達成するための取組に向けて～

## ○目標：目指すべき未来の姿（望ましい将来像）



伊豆の国市のまちづくりの課題である

・観光交流人口の増加    ・滞在・周遊型観光への転換    ・サイクルツーリズムの確立

に繋げていく。

# 伊豆の国市かわまちづくりの目標設定

～目指すべき未来の姿とそれを達成するための取組に向けて～

## ○かわまちづくりによって実現できること！

- ・かわまちづくり支援制度が活用できれば、河川管理者による基盤整備＋市等による施設整備により、広い公共空間を活用した観光客の滞在拠点を生み出せる。
- ・狩野川堤防は、伊豆地域のサイクリングコースの主要動線であることから、かわまちづくりで狩野川にサイクリング利用者の滞在拠点づくりができれば、通過型⇒滞在型・個人型⇒家族型への転換、自転車による市内観光への誘導・波及を図ることができる。
- ・河川区域といった広い公共空間の活用は、民間企業・団体にとっても魅力的であり、民間活力による観光振興を図ることができる。